

# 創業100周年パーティ

「丈夫で長持ち」、「清潔な会社」

賞賛と期待に包まれ



シャーリングとプレスプレー  
キの専業メーカー、相澤鉄工所  
が創業100周年を記念し、9  
月29日、さいたま市のホテルに  
代理店・特約店関係者やユー  
ザーを招き盛大に式典・祝賀会  
を開いた。

同社は板金分野の主要設備となる「切る、曲げる機械」の開発製造に長年特化し、とりわけ切断用のシャーリングマシンでは国内シェア50%以上と推測さ

れる。式典の挨拶では来賓から同社の製品づくりを称える言葉が続いた。「11年前に中国の2工場に相澤さんのプレスプレーを計4台を入れたが、やはり頑強で、品質・信頼性ともに高い」と評が聞かれ、「シャーリング」などの評が聞かれ、「ヤマザキマツタク・山崎高嗣社長」とプレスプレーキー筋の経営のもと、使いやすさなどユーモア第一で需要家の心をつかんでこられた清潔かつ、顧客に寄り

テラン社員から営業マンとして  
心得を厳しく、またやさしく  
指導されたとの思い出を披露。  
「アイザワのジャンパーを着てお  
客様を回つたものです。厳しい  
手ほどきを受けたけど、接待も  
大事だからお前また来いと夜の  
飲み会に連れまわされ、こちら  
の方がもつと厳しく大変だった」  
と述懐し、笑いを誘つた。

相澤鉄工所の相澤邦光社長は同社100年の歴史を振り返つたあと、未来に向けた抱負を語つた。まず本社は埼玉県川口

相澤社長は米・キンク牧師の名  
言「私には夢がある」を引いて、  
「AAA(同社の略語、ロゴ)は  
社員、地域とともに夢を持つて  
未来へ向かう」旨、高らかに述べた。

式典の後は東北が誘致候補に決まっている国際リニアコライナーに関する講演会を行い、その後、会場を移動し祝賀会で和やかに懇親した。

挨拶した山善・岸田社長

A black and white photograph of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is standing behind a podium with a microphone, smiling slightly. In the background, large vertical characters on a wall read '年会' (Nenkai), which translates to 'Annual Meeting'.